

2 階病棟ってこんなところ

森山直美¹⁾

要 旨：一般病床と産科病床をもつ 48 床の病棟で、個室、特室は病状に応じて重症患者に使用しているが、小児科、産婦人科患者を優先している。誕生から終末期までの幅広い対象に合わせた多彩な知識を駆使し、小児看護、高齢者看護、急性期、慢性期、回復期の看護をしている。小児の入院は、家族の付き添いが必須で個室を優先的に使用し、点滴管理は大人以上に細心の注意を要する。看護師もお産に関われる様に新生児蘇生法(NCPR)講習を受け、急変対応の定期勉強会を開催し、ハリーコールには副師長も若手看護師と駆け付け、学びを自信に繋げ、急変を苦手にしないう指導をしている。産科は、より良い妊娠から安全な出産に繋げるために 外来と病棟が一体化し、3 名のアドバンス助産師を中心に若手助産師も力を発揮し、情報を共有し手厚いサポート体制を組んで、妊娠期から産褥期まで母親と新生児の安全を守っている。一人のスタッフの心配をスタッフ全員が自分の事として振り返り、心配をなくす努力をしている。

キーワード：個室使用；産科・小児急変時対応；情報共有

(雲南市立病院医学雑誌 2020；17(1)：印刷中)

概 要

一般病床と産科病床をもつ48床の病棟です。師長、副師長 2 名（看護師、助産師）、看護師 11 名、助産師 8 名、看護助手 4 名 合計 25 名のチームです。対象

患者は、新生児から 100 歳を超える高齢者まで幅広く、80 歳以上が全体の 6 割を占めています（図 1、2）。8 割が女性患者です。

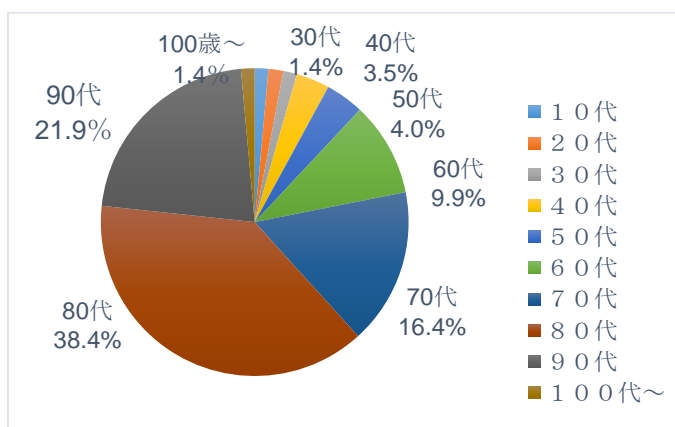


図 1：2019 年年代別入院患者数

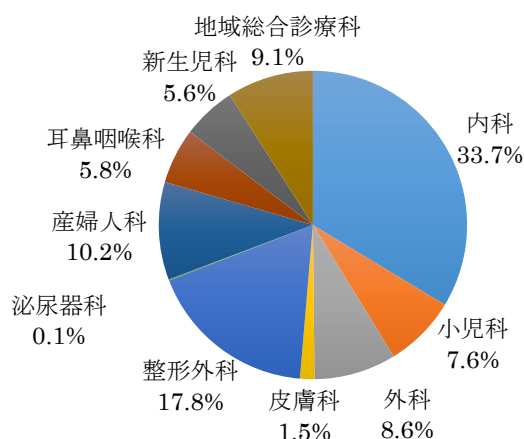


図 2：2019 年診療科別入院患者割合

1) 雲南市立病院看護部看護科

著者連絡先：森山直美 雲南市立病院看護部看護科 [〒699-1221 雲南市大東町飯田 96-1]

E-Mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

電話：0854-47-7500/ FAX：0854-47-7501

(受付日：2020 年 3 月 31 日、受理日：2020 年 3 月 31 日)

一般病床

概要

- ・診療科：全診療科
- ・4人部屋9室、個室3室、特室1室、個室、特室は病状に応じて重症の方に使用していますが、小児科、産婦人科の方を優先して使用しています。

特徴

- ・誕生から終末期までの幅広い対象に合わせた多彩な知識を必要とします。
- ・小児看護、高齢者看護、急性期、慢性期、回復期の看護をしています。
- ・小児の入院は家族の付き添いが必須な為、個室を優先的に使用しています。点滴管理は大人以上に細心の注意を要します。
- ・高齢者は、多くの既往歴を持つ方が多く急変時の対応も必要とします。
- ・お産が始まると助産師は、お産業務に分娩室に入り、他患者はすべて看護師が担当します。
- ・分娩室からの緊急コールがあれば看護師も直ちに分娩室へ向かいます。
- ・夜間の分娩時は、看護師1名で病棟全員の患者対応をします。新生児がいる時は、夜間のオムツ交換時に救急外来から応援に来てもらい、とても助かっています。

だから私たちは……

- ・安心してお産して頂ける様に、看護師も専門的に関われる様に新生児蘇生法(NCPR)の講習を受けています。
- ・定期的に急変対応の勉強会をしています。ハリーコールには、副師長自ら若手看護師と駆け付け実践、学びを自信に繋げていきます。急変を苦手にならない指導をしています。
- ・一人で全患者を担当できる様に日頃からチーム間での情報を共有し横の繋がりを強化しています。
- ・ユマニチュード研修に参加した看護師を中心に認知症の方の急性混乱を特別な事と受け止めず、自然に対応し「人間らしさ」を尊重する関わりをしています。
- ・お産の時には一人で病棟を守るのは、心細くて大変だけれど新しい命の誕生があるから頑張っている助産師と同じ気持ちで頑張っています。
- ・急性混乱している患者さんには不安な気持ちに寄り添い抑制帯を使用せず傾聴しています。対応に戸惑うこともありますが大変と思わない姿勢が2階病棟の素敵なところ です。
- ・入退院も多く、追われていますが、看護補助者は速やかに環境を整え新入院に備えてくれます。

産科病床

出産件数が2017年度に比べほぼ2倍に増加しました(図3)。

概要

- ・4人部屋1室：分娩予備室として運用

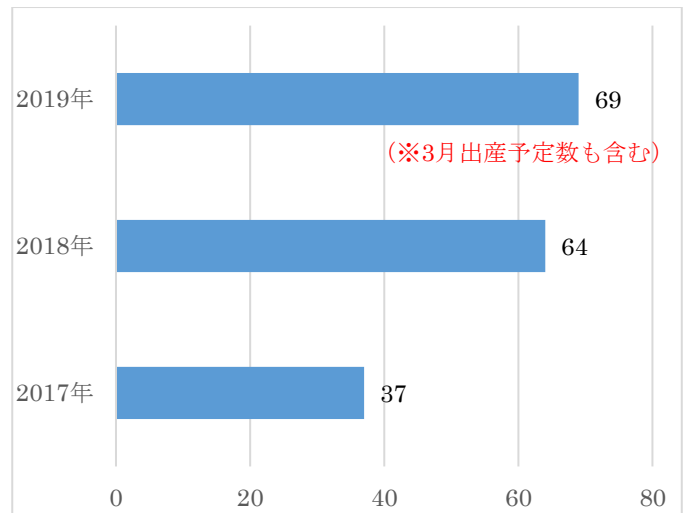


図3：年別出産件数

- ・産科ユニット(個室)4室：産科専用区域管理
 - ・心身ともに安全で穏やかな気持ちで生命の誕生を迎えられるように、産科スタッフチームは入室基準を明確化し厳守しています。
- 病室環境は、新病院となり勿論よくなりましたが、私達も頑張っています！**

- ・3名のアドバンス助産師を中心に若手助産師も力を発揮し妊娠期から産褥期までお母さんと赤ちゃんの安全を守っています。

*アドバンス助産師とは……

助産師実践能力習熟段階レベルⅢに該当する助産師実践能力を認証された助産師。「自立して助産ケアを提供できる助産師」として公表する資格のある助産師です。

- ・妊娠中は、妊婦健診、助産外来、母親学級。産後は、産後事業ケア、育児相談、母乳外来など柔軟に対応し継続的なサポートをしています。
- ・より良い妊娠から安全な出産に繋げるために 外来と病棟が一体化となっています。情報を共有し手厚いサポート体制を組んでいます。助産師全員が全ての妊婦情報を共有し統一した対応ができています。
- ・徹底した情報共有をするためにカンファレンスを行い、常に振り返りをしています。
- ・一人のスタッフの心配をスタッフ全員が自分の事として振り返り、心配をなくす努力をしています。
- ・一つ一つ確実に力がつくように全員で成長しています。
- ・混合病棟での産科のため、誰もが感染対策には十二分に注意をはらい産科ユニット体制をとっています。

*産科ユニットとは……

母子が感染リスクから回避され継続的に観察でき、異常の早期発見が行える目的で病棟の一部を他患者と別室になるように「産科ユニット」として使用しています。

- ・新しく便利になった環境を当たり前とは、思わずに今の環境に感謝しつつも常に創意工夫を凝らしてより良い環境にしていきたいです。

師長から

私は出産を終えた看護師ですが、こんなにも人のお産を心配する人たちが居るのだろうか？と思うほど当病棟の助産師達は、妊婦さんが安心して安全なお産が出来る様にいつも心配しています。お産を終え、退院される時の「バースレビュー」は、嬉しい内容ばかりです。私は、思わず涙が出ることもあります。うちの助産師達は、熱いです。そんな助産師のいる病院でのお産がもっともっと増えるといいな。「雲南で赤ちゃんが産めてよかった。近くの病院で赤ちゃんが産めて安心だった。」の聲が何より嬉しく、明日の力になります。



助産師外来「ここまち」

- ・助産師外来「ここまち」の意味：
ここ（雲南市）のまち（町）の助産師が
ここの病院で
こころまち（心待ち）にまって（待って）います。

The second floor ward is such a department.

Naomi Moriyama¹⁾

Abstract: Our ward is mainly the gynaecology, obstetrics, and paediatrics ward. It has 48 beds, including private rooms and one special room. The latter two are used with priority for obstetric and paediatric patients. We should have broad knowledge concerning all conditions from birth to death and should give nursing care for paediatric, aged, acute, chronic, and recovering patients. When admitting a child, we prioritize the private room because children are attended to by their parents, and we pay great attention to infusion therapy. The nurses on our ward are always prepared for obstetric emergencies by being skilled at neonatal cardiopulmonary resuscitation (NCPR) and regularly participating in workshops on emergency care. Experienced nurses go to the in-hospital emergency scene with inexperienced young nurses in response to doctors' calls. Together, they learn skills, gain confidence in dealing with all emergencies, and become better in that respect. Three midwives, young midwives, and other staff members of the ward and out-patient department avail pregnant and postpartum women with precise information on safe pregnancy, delivery, and new-born care. Every staff member on our ward is compassionate with their colleagues and allays their anxieties.

Keywords: use of the private room; management and practice of obstetric and neonatal emergencies; information control among all staff

1) Nursing department, Unnan City Hospital

Correspondence:

Naomi Moriyama, Nursing department, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]

E-Mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501